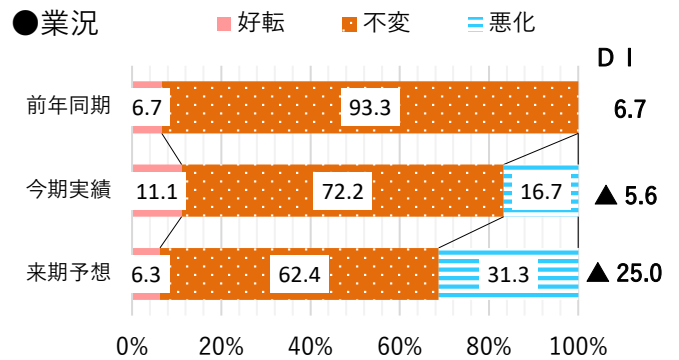


卸 売 業

業況、売上、採算

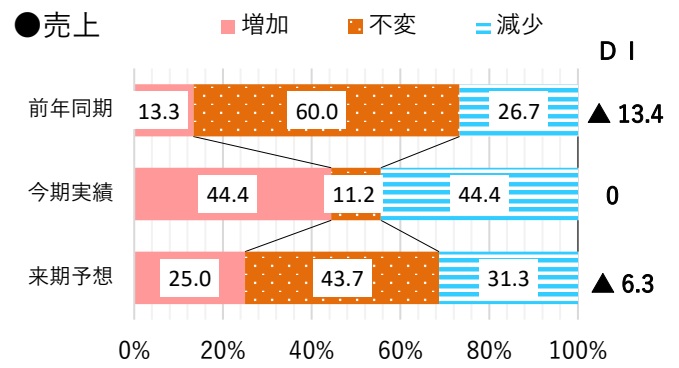
今期（2026.4～6）の業況DIは▲5.6で、前年同期（2025.4～6）と比べ12.3ポイント低下しました。

来期（2026.7～9）の業況DIは▲25.0で、今期（2026.4～6）と比べ19.4ポイント低下すると予想しています。



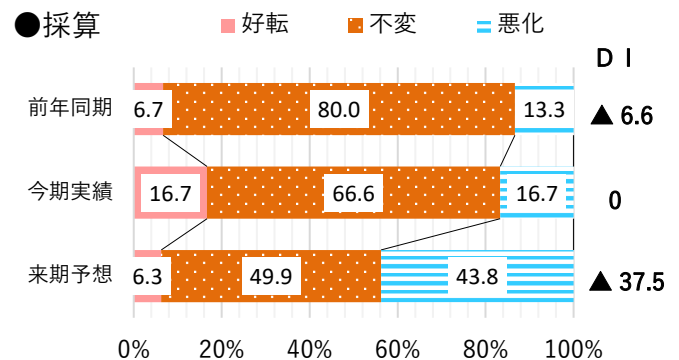
今期の売上DIは0で、前年同期と比べ13.4ポイント上昇しました。

来期の売上DIは▲6.3で、今期と比べ6.3ポイント低下すると予想しています。

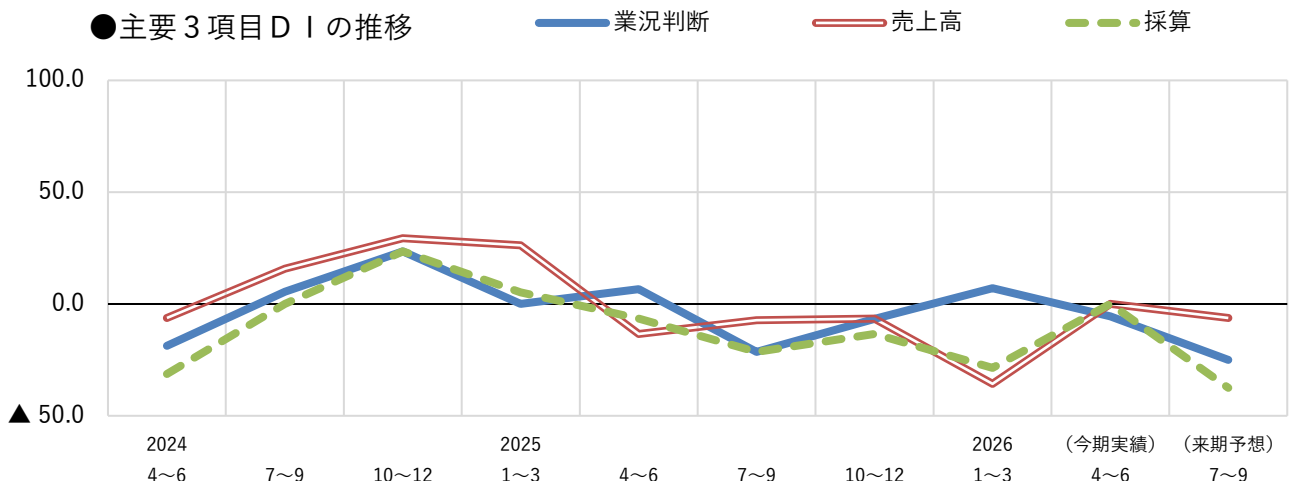


今期の採算DIは0で、前年同期と比べ6.6ポイント上昇しました。

来期の採算DIは▲37.5で、今期と比べ37.5ポイント低下すると予想しています。



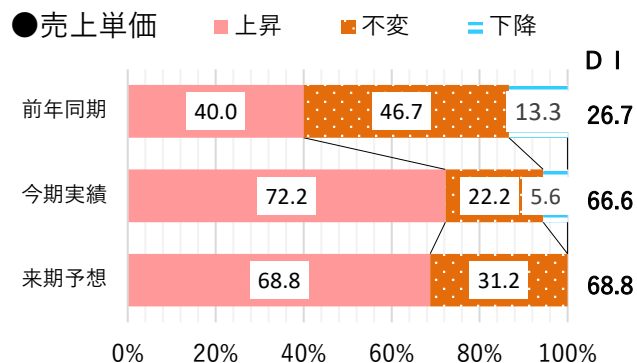
●主要 3 項目 D I の推移



売上単価、商品仕入単価

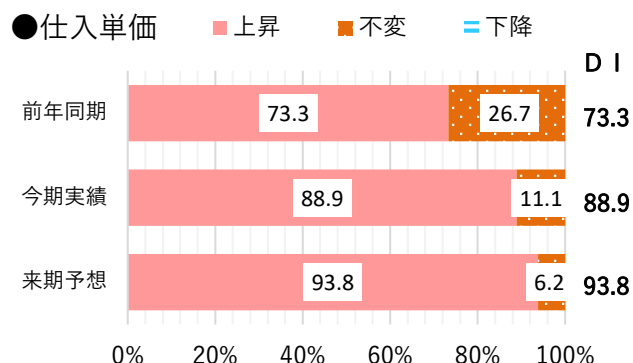
今期の売上単価DIは66.6で、前年同期と比べ39.9ポイントと大幅に上昇しました。

来期の売上単価DIは68.8で、今期と比べ2.2ポイント上昇すると予想しています。



今期の仕入単価DIは88.9で、前年同期と比べ15.6ポイント上昇しました。

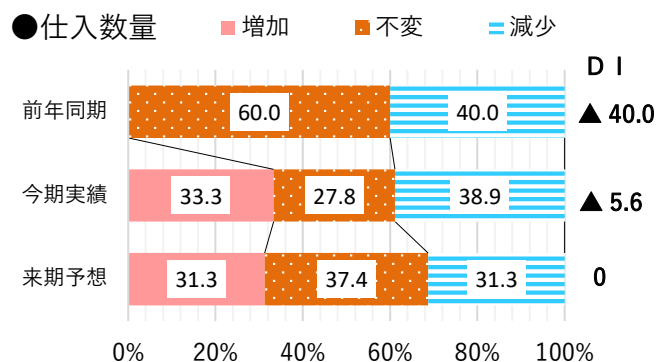
来期の仕入単価DIは93.8で、今期と比べ4.9ポイント上昇すると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

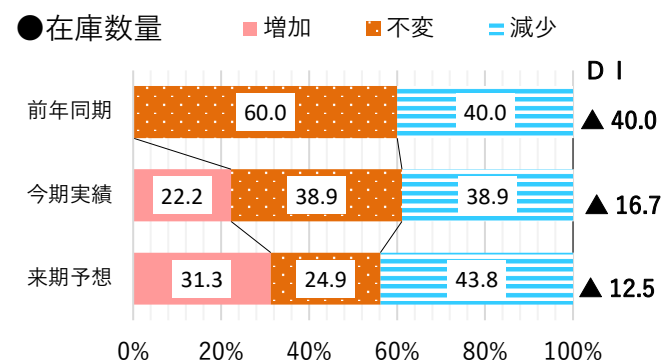
今期の仕入数量DIは▲5.6で、前年同期と比べ34.4ポイントと大幅に上昇しました。

来期の仕入数量DIは0で、今期と比べ5.6ポイント上昇すると予想しています。



今期の在庫数量DIは▲16.7で、前年同期と比べ23.3ポイント上昇しました。

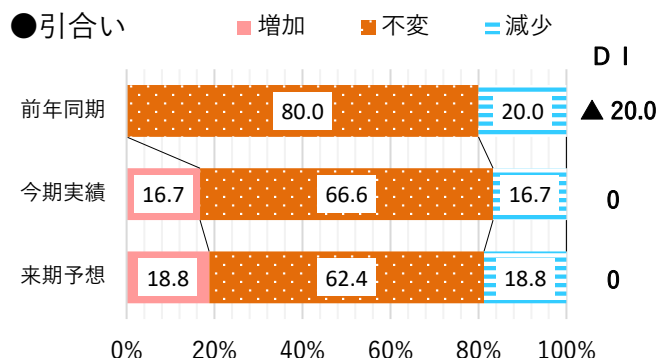
来期の在庫数量DIは▲12.5で、今期と比べ4.2ポイント上昇すると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは0で、前年同期と比べ20.0ポイント上昇しました。

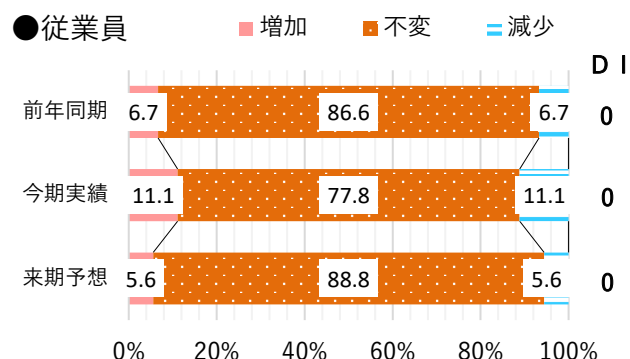
来期の引合いDIは0で、今期と比べ変化なしと予想しています。



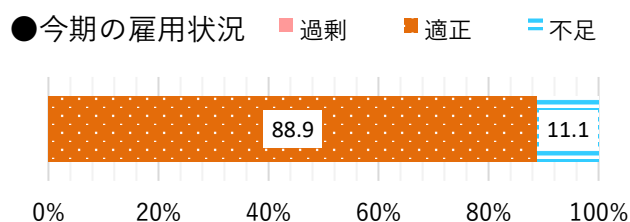
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0で、前年同期と比べ変化なしとなりました。

来期の従業員DIは0で、今期と比べ変化なしと予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は88.9%、不足していると回答した企業の割合は11.1%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは、「従業員数は前年同期比で変わらず、適正である」という回答で、72.2%を占めました。

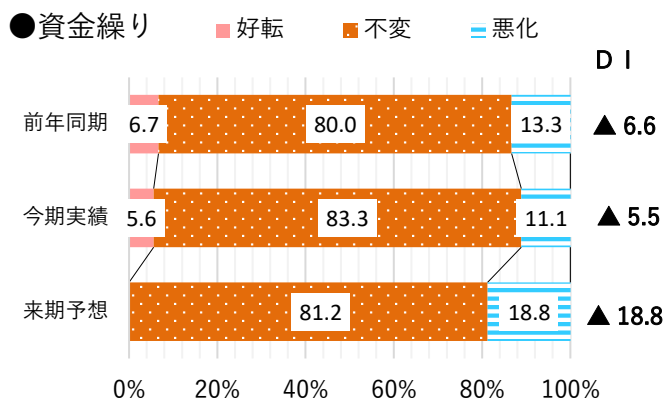
従業員数変化	雇用状況	回答割合
増加した	過剰	0%
	適正	11.1%
	不足	0%
不変だった	過剰	0%
	適正	72.2%
	不足	5.6%
減少した	過剰	0%
	適正	5.6%
	不足	5.6%

※回答総数18社

資金繰り、設備投資

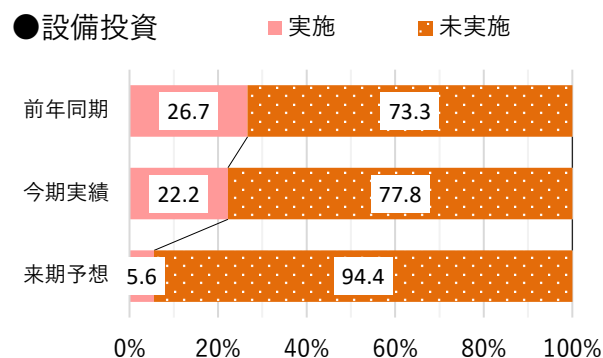
今期の資金繰りDIは▲5.5で、前年同期と比べ1.1ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは▲18.8で、今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



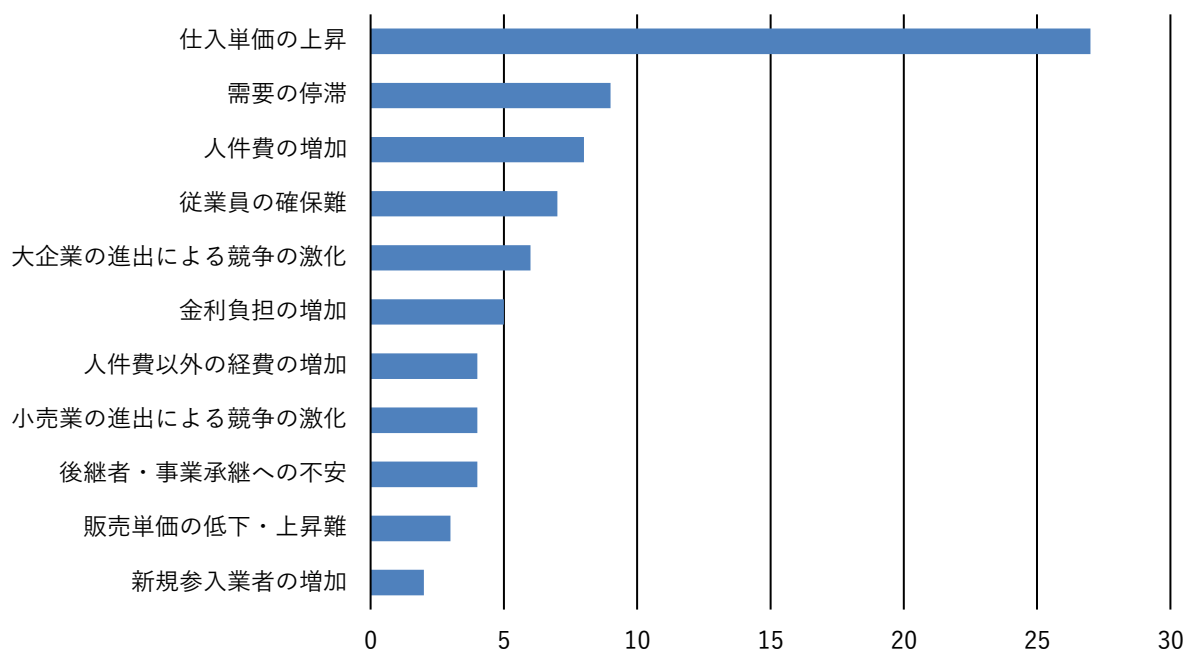
今期の設備投資は22.2%が実施と回答し、前年同期と比べ4.5%低下しました。投資内容は、1位が「車両運搬具」、2位が「OA機器」でした。

来期は5.6%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「人件費の増加」の順となっています。



企業の声

[今期の業況について]

- 送料と仕入単価が著しく上昇しており、送料無償の条件も厳しいのでメーカーからの出荷ロットが増加し、在庫の数も増加している。（食料・飲料）
- 仕入単価、人件費の上昇が止まらない。（食料・飲料）
- 中東情勢の緊迫化に伴い石油製品を中心にメーカー各社から値上げ、欠品、出荷制限の案内が届き、値上げの駆け込み需要にも対応できず、苦労している。（建築材料）
- 中東情勢の影響で一時的に注文数は増加したが、価格の上昇、在庫切れ、出荷制限等により厳しい状況である。（包装資材）
- 仕入価格は高いが、販売価格も高いので売上が増加した。（石油卸売）
- ナフサの影響で仕入額が増加したが、売上と利益も共に増加した。（塗料販売）

[来期の業況について]

- メーカーからは更なる値上げが案内されているので厳しい状況を見込んでいる。（食料・飲料）
- 予想がつかないくらいひどい業況になると予想している。（食料・飲料）
- 中途情勢が落ち着くまで多数の建築商品の流通の滞りと一部商品の欠品により、工期に遅れが生じる現場が多くなると見込んでいる。また、大幅な値上げによる需要の停滞も心配している。（建築材料）
- 新幹線需要は減少するが、泊発電所向け資材の出荷の増加が見込まれる。（建築材料）
- 中東情勢の影響で値上げ率が高いので、買い控え等の発生が予測される。（包装資材）
- 品不足が落ち着いてきたので在庫を減らす予定である。（塗料販売）